

### 農業の担い手育成・確保対策は

#### 研修や指導など支援に努める



藤原 晶幸 議員 (明和会)

本市における農業の現状は、小規模農家の割合が高く、さらに65歳以上の就農人口が6割を占

めている。農業労働力の高齢化が進んでいる中、担い手育成・確保に向けた取り組みについて伺う。また、経済不況による農畜産物の価格低迷と生産資材の高騰による急激な農家経済の悪化に、どのような支援策を考えているのか伺う。

**A(市長)** 担い手育成は、経理・税務に関する研修の「愛農土塾」や「集落型経営体研究会」の開催や、農業経営指導マネージャーによる経営改善指導等の実施をはじめ、産地確立交付金の担い手加算を認定するなど支援に努める。農業経済悪化に

対しては、新たに肥料散布の効率化を図るための「賢治の土壌診断事業」を実施するほか、各種施策に取り組んでいく。

#### 体育施設の整備計画

**Q** 新たな体育館建設と陸上競技場の改修整備計画について伺う。

**A(教育部長)** 新体育館は条件が整い次第財政面からの検討を行い着工したいと考えている。陸上競技場整備は平成24年度の完成を見込んでいる。



2月28日に開催された「愛農土塾」と「集落型経営体研究会」の合同会議



北上花巻地域合同で開催された就職ガイダンスには、企業20社、就職希望者164人が参加しました(4/10)

### 雇用状況悪化にどう対応するか 機会の提供と雇用創出に努める



高橋 久順 議員 (平和環境市民クラブ)

**Q** 世界的な経済危機の影響を受けて雇用状況が悪化をたどっている。3月末までにさらに失業者

が増えると思われている中で、本市では市内の企業の経営状況や雇用状況の実態をどう把握しているのか、今後失業者や企業に対してどのような支援策をしていくのか伺う。また、多彩なメニューでの雇用創出など先手を打っていく必要がある

と考えるが、今後、中長期的な支援策を含め、どのような施策で対策を講じていくのか伺う。  
**A(商工観光部長)** 市内主要企業から緊急アンケートを実施したところ、業種を問わず経営状況の悪化が深刻化しているという結果が出た。また、

雇用面においても正社員、派遣社員両面で1000人を超える労働者が影響を受ける結果となっている。その対策としては、「就職面接会、企業説明会」を開催し、就業機会提供に努めていく。雇用創出については、従来からの企業誘致、内発振興策は継続して取り組んでいく。また、今回の景気悪化で明らかとなった雇用構造に係る課題についても積極的に関わっていく。

### 市長マニフェストの達成度は 実施率は約85%、評価は約80点



鎌田 幸也 議員 (花巻クラブ)

**Q** 新市の市長に就任し3年が経過したが、選挙時のマニフェストに掲げた施策がどれだけ達成で

きたと考えているか。また、施策について市長自らの評価を伺う。  
**A(市長)** 市民サービスなど6つの政策からなる82項目のうち、まちづくり基本条例の制定や地域コミュニティ会議など実施されたものと実施が見込めるもので70項目、お

おむね85%となつている。評価については、事業の進め方で一部課題が見られたことから80点くらいとし、任期中に満点になるよう目指す。  
**Q** 早池峰神楽が本年9月に「ユネスコ無形文化

遺産」に登録の見込みである。21年度予算に計上された関連事業費2300万円の内容及増加が見込まれる観光客の受け入れ態勢について伺う。  
**A(市長)** ユネスコ登録記念の年として全国神楽大会を中心に関連事業を展開するもの。また、受け入れについては、詳細な解説書などを作成することで広く周知し、市民総ぐるみの歓迎体制を構築したい。



「神楽の日」などさまざまな機会で行われている早池峰神楽(岳神楽の「翁舞」)

### 花巻型水田活用方策を示しては 低利用水田の活用と所得保障

#### 残念ながら農業生産額は年々減少してきている。



平賀 守 議員 (明和会)

**Q** 本市は水稲の作付面積8000haと県内はもちろん全国でも有数の農業基盤を有しているが、

残念ながら農業生産額は年々減少してきている。今こそ水田の有効活用を見据えた「花巻型水田活用方策」を示すべきではないか。  
**A(市長)** これまでも生産者団体と連携しながら、雑穀、麦、大豆などの生産振興に取り組んで

きた。今後も転作面積の2割を占める調整水田や管理水田などの低利用水田を活用するとともに、国に対して所得保障などを盛り込んだ新農業政策を花巻から発信し、農業で生計を立てられる花巻型農業の確立に努力していく。

#### 中部病院への連絡道

**Q** 岩手中部病院へのアクセス道路の進捗よく状況はどうか。  
**A(建設部長)** アクセス道路となる山の神藤沢町線は、平成20年度の暫定供用を目指してきたが、用地取得に時間を要し平成21年度になる見込みである。諏訪町一丁目から北上市境までは平成23年度完成を目指し事業を推進する。



新しい水田活用策が求められています